

2025（令和7）年度入学試験問題

日 本 史

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. この問題の本文は全部で25ページです。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
6. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。
(機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。)
 - (2) 解答科目欄は、解答する科目を一つ選び科目の下のマーク欄を正確にマークすること。
マークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、無効となります。
 - (3) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
 - (4) 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
 - (5) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
 - (6) 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の（例）のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

（例） ③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	

7. 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

I 次のA、Bの文章を読んで、各設問に答えなさい。

A 1068年、後三条天皇が即位した。ア 以来の、藤原氏を外戚としない天皇であった。後三条天皇は、荘園の増加が公領を圧迫し朝廷の税収の減少をまねいていると判断し、厳しい内容の荘園整理令を發した。また中央に記録荘園券契所（記録所）^(a)を設け、そこでの審査の結果、基準にあわない荘園は停止された。摂関家もこれによって、大きく経済力をそがれた。

後三条天皇の皇子である白河天皇は堀河天皇に譲位したのちも、上皇として院庁を拠点に政治の実権を行使した。ここに院政がはじまり、続く鳥羽上皇・後白河上皇^(b)も院政をおこなった。上皇が国政を主導した時代、一般的には白河・鳥羽・後白河の各上皇の統治期を指して院政期という。政治的制約の少ない立場にたつ上皇は、直系の天皇を後見しながら、法や慣例にとらわれない専制的な政治をおこない、摂関家を圧倒した。これに応じて、これまで摂関家におさえられていた中下級貴族のなかから院近臣が形成され、院庁の職員（院司）として院の権威のもとで、その手足となって活動した。院政をささえた基盤の一つは、多くの荘園であった。上皇のもとには大量の荘園が寄進され、^(c)これらは近親の女性や寺院にあたえられた。

上皇は仏教をあつく信仰し、出家して法皇となり、多くの大寺院をつくって^(d)盛大な法会をもよおし、しばしば紀伊に熊野詣や高野詣を繰り返した。また豪華な離宮が建てられ、上皇の権威の象徴となった。上皇たちの帰依を受けた大寺院は、地方の寺院を支配下に置き、多くの荘園をたくわえ、下級僧侶を僧兵として組織し、国司と争い、神木や神輿を先頭に立てて朝廷に強訴して要求を通そうとした。なかでも興福寺と延暦寺の僧兵は強力であった。^(e)朝廷は神仏の威を恐れて強訴をおさえることができず、武家の棟梁を起用してこれにあたらせようとした。

地方では、各地の武士が館を築き、一族や地域の結びつきを強めるようになった。なかでも奥羽地方では、イがウに根拠を構え、陸奥と出羽の2国に勢力をのばした。イは、金と馬に代表される奥州の富を用いて摂関家や上皇たちとの関係を築き、都の文化を移入した。奥州藤原氏は約^(f)

100年にわたって栄えた。

院政期には、貴族たちは新たに台頭してきた武士や庶民にも関心を示すようになった。インド・中国・日本の1000あまりの説話を集めた『エ』には、武士や庶民の活動・生活がいきいきと描かれている。絵画では、物語や説話を題材に、詞書を織りまぜながら次々に場面を展開していく絵巻物という独自の絵画様式が編み出された。『扇面古写経』の下絵には、京都における民衆の生活が描きだされている。また、『オ』などの和文体の歴史物語が著されたのは、時代の転換期に立って過去の歴史を振り返ろうとするこの時期の貴族の思想の表れである。

〔設問1〕 空欄 ア は、阿衡の紛議を経て藤原基経を関白に任じ、基経の死後は摂政・関白を置かず、文人貴族の菅原道真を重用した天皇である。空欄 ア に入る人物名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 1 にマークしなさい。

- ① 文徳天皇 ② 村上天皇 ③ 宇多天皇 ④ 光孝天皇

〔設問2〕 下線部(a)について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 2 にマークしなさい。

- ① 石清水八幡宮では、34カ所の荘園のうち21カ所だけが認められ、残りの13カ所の権利は停止された。
- ② 荘園整理令は後一条天皇の寛徳の荘園整理令が最初で、その後も、新たに成立した荘園を停止するなどしばしば出された。
- ③ 『建武年間記』には、記録荘園券契所について、六尺三寸の竿を用いて面積を測定したことや、枡の大きさを一定にしたことなどが記録されている。
- ④ 学識に優れた和気清麻呂は、記録荘園券契所の寄人（庶務や執筆に従事する職員）に任じられた。

〔設問3〕 下線部(b)の時代の出来事について述べた次の文 i ～ iii について、古いものから順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- i 崇徳上皇が藤原頼長と結んで、源為義・平忠正らの武士を集め、天皇方と戦ったが敗れた。
- ii 藤原信頼が源義朝と結んで兵を挙げ、藤原通憲を自殺に追い込んだ。
- iii 平忠盛が瀬戸内海の家賊の平定により上皇の信任を得て、さらに平氏としてはじめて殿上人となった。

- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
- ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

〔設問4〕 下線部(c)について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 八条院領は、鳥羽上皇が皇女八条院に伝えた荘園群である。
- ② 長講堂領は、白河上皇が長講堂に寄進した荘園群である。
- ③ 長講堂領は、鳥羽上皇が長講堂に寄進した荘園群である。
- ④ 八条院領は、白河上皇が皇女八条院に伝えた荘園群である。

〔設問5〕 下線部(d)に関して、院政期に天皇家により造営された寺として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 相国寺 ② 尊勝寺 ③ 東福寺 ④ 浄智寺

〔設問 6〕 下線部(e)に関連して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- a 興福寺の僧兵は、藤原氏の氏神である春日神社の神木の櫨をささげて強訴した。
- b 興福寺の僧兵は、藤原氏の氏神である日吉神社の神輿をかついで強訴した。
- c 奈良時代後半に最澄が開いていた比叡山の小堂は、最澄の死後、延暦寺の号が勅許された。
- d 後白河上皇は、延暦寺の僧兵（山法師）から院の御所を警護するために、西面の武士を組織した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

〔設問 7〕 空欄 , に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① イ 藤原清衡 ウ 鶴岡 ② イ 藤原清衡 ウ 平泉
- ③ イ 藤原広嗣 ウ 平泉 ④ イ 藤原広嗣 ウ 鶴岡

〔設問 8〕 下線部(f)に関連して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **8** にマークしなさい。

- ① 毛越寺の建物は、中世に焼失したが、浄土式庭園の遺構はよく残っている。
- ② 白水阿弥陀堂の堂内には、「来迎壁画」と大仏様の阿弥陀如来像があり、浄土教の地方普及の典型例とされる。
- ③ 白水阿弥陀堂は、裳階をつけた中堂と二階建ての翼廊とで、鳳凰が翼を広げた姿をかたどったようにみえる。
- ④ 毛越寺は、藤原秀衡が創建した。

〔設問 9〕 空欄 **エ** , **オ** に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **9** にマークしなさい。

- ① エ 梁塵秘抄 オ 大鏡
- ② エ 梁塵秘抄 オ 増鏡
- ③ エ 今昔物語集 オ 大鏡
- ④ エ 今昔物語集 オ 増鏡

B 平清盛は、後白河上皇（のち法皇）の信任をえて高位高官にのぼり、武士として初めて太政大臣となった。その子重盛以下の一門も昇進し、平氏の栄華が^(g)始まった。しかし、後白河法皇と清盛は、やがて政治的に対立するようになった。後白河法皇の近臣による平氏打倒の企てが発覚したり、法皇を中心とする反平氏の動きが表面化したため、清盛は法皇を鳥羽殿に幽閉し、関白以下多数の貴族を処罰し、官職を奪うという強硬手段に出た。清盛は自分の孫にあたる**カ**を即位させたが、法皇の皇子**キ**は新しい天皇の正統性を認めず、源頼政とともに挙兵し、平氏を倒して自ら皇位を継承しようとした。挙兵を呼びかける**キ**の令旨が諸国の武士に伝えられると、これに応じて、伊豆の源頼朝や木曾の源義仲をはじめ各地の武士団が挙兵した。戦いは全国に広がり、これ以降争乱が続いた。^(h)

源頼朝は相模の鎌倉を拠点として関東の荘園・公領を支配し、またその支配権は西国にもおよび、武家政権としての鎌倉幕府が確立していった。頼朝は、後白河法皇の死後には征夷大將軍に任じられた。鎌倉幕府の支配機構は、簡素で実務的なものであった。鎌倉には侍所、公文所（のちに政所と改称）と問注所(i)などがおかれ、側近たちが將軍頼朝を補佐した。地方には守護と地頭が置かれた。幕府支配の根本となったのは、將軍と御家人との主従関係であった。頼朝は主人として御家人たちに、彼らが先祖から受けついできた所領の支配を保証するとともに、新たな所領を分け与えたりした。この御恩に対して御家人は、戦時には軍役を、平時には朝廷の警護にあたる京都大番役や鎌倉御所を警備する鎌倉番役などをつとめて、従者として奉公した。

12世紀末の鎌倉幕府成立から、幕府滅亡までの約150年間続いた鎌倉時代(i)には、公家が伝統文化を受け継ぎながらも、武士が新たに文化の担い手となった。そして、日宋間の往来や禅僧の渡来によって、大陸の新しい文化がもたらされた。

〔設問10〕 下線部(g)に関連して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄

10

 にマークしなさい。

- ① 平氏は、近くに良港があり、日宋貿易の拠点であった安芸に遷都したが、約半年間で都を京都にもどした。
- ② 平清盛は、一門の繁栄のために天龍寺を造営し、法華経などの写経を奉納した。
- ③ 平氏の経済的基盤は、全盛期には日本全国の約半数の知行国や膨大な数の荘園であり、さらに日宋貿易の利潤であった。
- ④ 『栄花（華）物語』は平氏の繁栄について記した軍記物語である。

〔設問11〕 空欄 カ , キ に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 11 にマークしなさい。

- ① カ 高倉天皇 キ 宗尊親王
- ② カ 高倉天皇 キ 以仁王
- ③ カ 安徳天皇 キ 宗尊親王
- ④ カ 安徳天皇 キ 以仁王

〔設問12〕 下線部(h)の時代の出来事について述べた次の文 i ～ iii について、古いものから順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 12 にマークしなさい。

- i 讃岐国屋島において、源義経と平氏の間で行われた戦い。
- ii 駿河国富士川をはさんで、平維盛を大将とする追討軍と源頼朝の間で行われた戦い。
- iii 越中・加賀国境の倶利伽羅峠の近くで起こった、源義仲と平氏方の追討軍の間で行われた戦い。

- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
- ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

〔設問13〕 下線部(i)に関連して述べた次の文 X・Y と、それに関連する人物名 a ～ d との組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 13 にマークしなさい。

X 御家人を組織し統制する侍所の長官を別当という。

Y 裁判事務を担当する問注所の長官を執事という。

a 和田義盛 b 安達泰盛 c 一条兼良 d 三善康信

- ① X - a Y - c ② X - a Y - d
- ③ X - b Y - c ④ X - b Y - d

〔設問14〕 下線部(i)に関連して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 14 にマークしなさい。

- a 武士の家に生まれた西行は、歌集『閑吟集』を残した。
- b 幕府の歴史を編年体で記した史書『吾妻鏡』が編まれた。
- c 将軍源実朝は万葉調の歌をよんで『金槐和歌集』を残した。
- d 『神皇正統記』など、戦いを題材に実在の武士の活躍ぶりを描いた軍記物語が著された。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

Ⅱ 次のA～Cの文章を読んで、各設問に答えなさい。

A 17世紀後半以降、都市の発展や生活の向上などを背景とした需要の高まりによって、商品作物の栽培がさかんとなった。売ることを目的とした商業的農業の展開は、米作を中心とする自給自足の経営を変化させると共に、農村を拠点に活動する商人の出現をうながし、地域的な流通が発展した。17世紀の末から^(a)18世紀のはじめには、各地でそれぞれの風土に応じた特産品が作られ、地域的な分業が成立するようになった。

例として山城宇治や駿河の茶、会津の 、薩摩・讃岐の砂糖が知られ、各地に名産が生まれた。を用いる養蚕・製糸も各地でおこなわれたが、とくに信濃^(b)から北関東・陸奥南部でさかんであった。綿作は各地に普及し、とくに畿内・北九州・瀬戸内海沿岸・東海地方でさかんに栽培された。の原料である青苧は越後・出羽の名産であった。染料作物としては阿波の 、出羽の紅花などがある。商品作物の中で茶・・・和紙の原料となる楮を四木、・・紅花を三草とよび、重要な作物とされた。

〔設問1〕 下線部(a)に関連して、この時期におこなわれた幕府の政策について述べた次の文 i～iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- i 足高の制が出された。
 - ii 萩原重秀が金銀貨幣を改鑄した。
 - iii 長崎新令が出された。
- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
 ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

〔設問2〕 空欄 , に入る作物の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① ア 漆 イ 桑
- ② ア 漆 イ 菜種
- ③ ア 菜種 イ 桑
- ④ ア 菜種 イ 漆
- ⑤ ア 桑 イ 漆
- ⑥ ア 桑 イ 菜種

〔設問3〕 下線部(b)にある1707年に再建された建物の名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 万福寺大雄宝殿
- ② 善光寺本堂
- ③ 寛永寺根本中堂
- ④ 護国寺本堂

〔設問4〕 空欄 , に入る作物の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① ウ 藍 エ たばこ
- ② ウ 藍 エ 麻
- ③ ウ 麻 エ たばこ
- ④ ウ 麻 エ 藍
- ⑤ ウ たばこ エ 藍
- ⑥ ウ たばこ エ 麻

B 商品作物の栽培と共に諸産業の発達をみていくと、都市建設に用いる木材需要の増大を受けて、各地で林業がさかんになった。木曾の オ , 吉野・秋田の カ が知られている。燃料としての薪や炭は都市需要が増し、摂津の池田炭や紀伊の備長炭は高品質の物として知られた。

^(c) 漁業は、摂津・和泉・紀伊などの上方漁民によって発達した網漁法（上方漁法）が全国に伝わり、各地に漁場がひらかれた。多数の漁夫を雇用しておこなう地引網・船引網・定置網など大規模漁業が増えた。房総半島の九十九里浜の鰯漁は、^(d) 金肥として干鰯・メ粕が綿作などの肥料として用いられたことから発達した。他に近江商人などが権利をもつ蝦夷地の鮭・鯿・昆布漁なども知られている。17世紀末以降、 キ にかわる中国向けの主要な輸出品として^(e) 倭物の生産が奨励され、幕府は独占的な集荷につとめた。

^(f) 醸造業と塩業では、山城の伏見、摂津の伊丹・西宮、ついで摂津の灘での酒造りが発展するいっぽう、播磨や下総などが醤油の特産地となった。塩は、瀬戸内海沿岸を中心に生産が増大した。

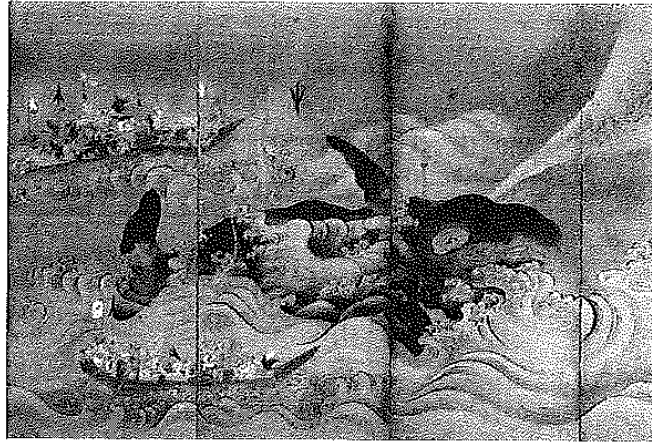
鉱業では、幕府直轄の伊豆・佐渡の金山、但馬生野・石見大森や秋田藩の院内の ク 山が知られたが、17世紀なかごろには産出量が減少し、かわって出羽の阿仁、伊予の ケ などの キ 山がさかえた。鉄は、中国地方を中心に砂鉄を原料とするたたら製鉄が発展した。幕末には陸奥の コ で洋式高炉による製鉄がはじまった。

〔設問5〕 空欄 オ , カ に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 19 にマークしなさい。

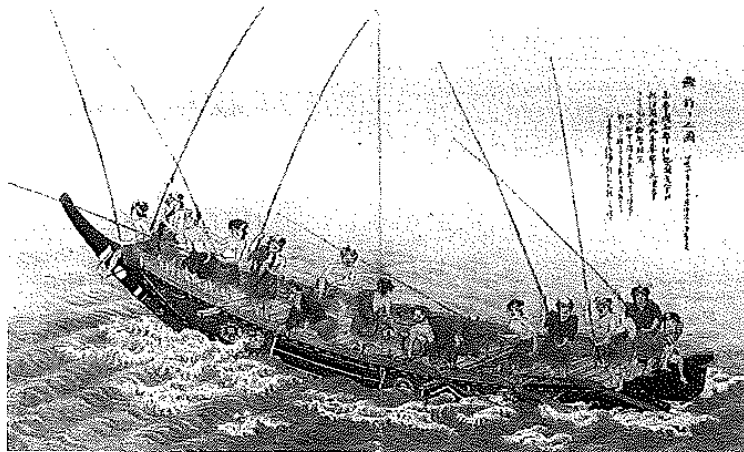
- ① オ 楠 カ 檜
- ② オ 楠 カ 杉
- ③ オ 杉 カ 檜
- ④ オ 杉 カ 楠
- ⑤ オ 檜 カ 杉
- ⑥ オ 檜 カ 楠

〔設問6〕 下線部(c)に関連して図X・Yと、それに関して述べた次の文a～dの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 20 にマークしなさい。

X



Y



- a 捕鯨は紀伊・土佐・肥前など南海・西海でさかんであった。
- b 捕鯨では船引網漁が用いられた。
- c 土佐の鰹漁では釣漁が用いられた。
- d 陸奥では揚がった鰹を加工して、鰹節が全国向けの特産品となった。

- ① X - a Y - c ② X - a Y - d
- ③ X - b Y - c ④ X - b Y - d

〔設問7〕 下線部(d)に関連して農業技術の改良の中で江戸時代に考案された農具として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄

21 にマークしなさい。

- ① ふるい ② 竜骨車 ③ 千歯扱 ④ 水車

〔設問8〕 空欄 キ , ク , ケ に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 22 にマークしなさい。

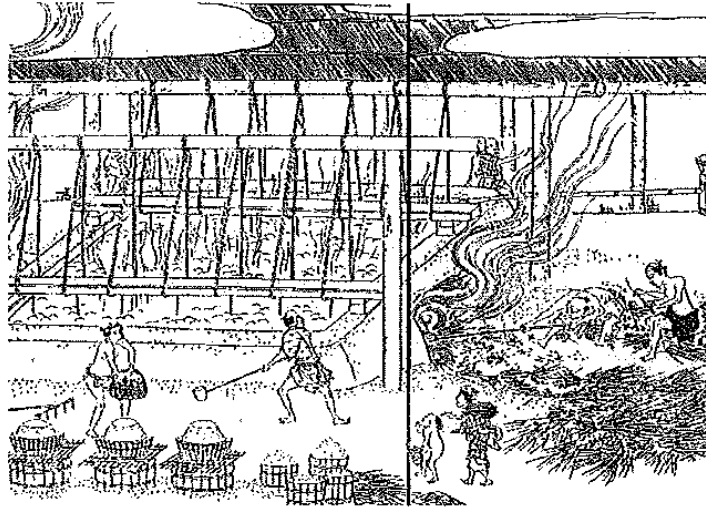
- ① キ 銅 ク 銀 ケ 別子
 ② キ 銅 ク 銀 ケ 足尾
 ③ キ 銀 ク 銅 ケ 別子
 ④ キ 銀 ク 銅 ケ 足尾

〔設問9〕 下線部(e)の内容物として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 23 にマークしなさい。

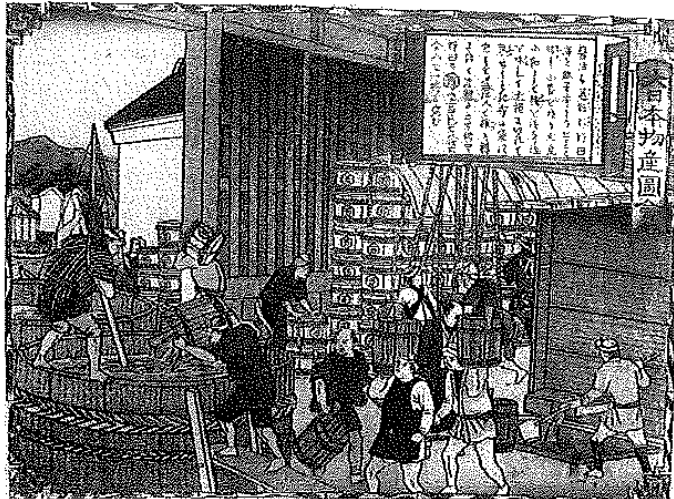
- ① 稗 ② 粟 ③ 煎海鼠(いりこ) ④ 甘藷

〔設問10〕 下線部(f)に関連して図X・Yと、それに関して述べた次の文a～dの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **24** にマークしなさい。

X



Y



- a 塩の作り方は、17世紀中期に入浜法から揚浜法へと本格的に発展した。
- b 塩の作り方は、17世紀中期に揚浜法から入浜法へと本格的に発展した。
- c 下総で作られた醤油の大部分は、大坂に運ばれた。
- d 醤油の代表的な産地の例として、播磨の龍野や下総の銚子・野田がある。

- ① X - a Y - c ② X - a Y - d
 ③ X - b Y - c ④ X - b Y - d

〔設問11〕 空欄 に入る地名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 釜石 ② 八幡 ③ 韭山 ④ 鹿児島

C 手工業の発展の過程をたどると、近世初期には城下町建設の一環として、幕府や領主は城下町に積極的に職人を集めたため、はじめは多くの手工業が都市においておこなわれたことがわかる。しかしその後農村でも手工業がひろくおこなわれるようになった。

特に織物業の発展は著しく、木綿織物は河内・和泉・三河などの木綿織をはじめ、小倉織、久留米絣などが有名であった。また前代から京都の西陣織が知られていたが、^(g)18世紀の中頃には西陣から高機(たかばたけ)の技術が地方に伝えられたため、丹後、上野桐生、下野足利など、各地に機業地が成立した。織物業の発展につれて染織もさかんとなり、尾張の有松絞や友禅染などの京染が有名になった。

陶磁器は中世からみられた の瀬戸焼のほか、この時期には京焼・加賀九谷焼・^(h)肥前有田焼などが知られるようになった。漆器業は、能登輪島・飛騨高山などの地でさかんになり、富山の売薬、備後の畳表などもよく知られた。

〔設問12〕 下線部(g)に関連してこの時期の事件について述べた次の文 i ～ iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **26** にマークしなさい。

i 竹内式部は京都で尊王論を説いて復古派の公家衆と共に、摂家によって処分された。

ii 若年寄の田沼意知が旗本佐野政言に江戸城内で刺殺された。

iii 山県大弼は江戸で幕政腐敗を攻撃し尊王斥覇を説き、謀反を企てたとして死刑に処せられた。

① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii

④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

〔設問13〕 空欄 **サ** に入る語として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **27** にマークしなさい。

① 美濃 ② 尾張 ③ 備前 ④ 珠洲

〔設問14〕 下線部(h)に関連して、文禄・慶長の役の際に諸大名がつれ帰った朝鮮人陶工の技術が伝えられ、生産が始まったやきものと大名の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **28** にマークしなさい。

やきもの 大名

① 薩摩焼 黒田氏

② 萩焼 毛利氏

③ 平戸焼 鍋島氏

④ 高取焼 島津氏

Ⅲ 次のA、Bの文章を読んで、各設問に答えなさい。なお、読みやすくするために、史料の表記を書き改めたり省略したりした部分がある。

A 与謝野晶子は、1878年、大阪に生まれた。女学校卒業後、家業の手伝いをしながら読書に励み、後に夫となる与謝野寛（鉄幹）が創刊した ア に多くの短歌を発表した。1901年には第一歌集『みだれ髪』を刊行した。また、^(a)日露戦争に当たり発表した詩「君死にたまふことなかれ」に対する大町桂月の非難に反論して「ひらきぶみ」を執筆した。その後、ヨーロッパ各地を歴訪したり、^(b)大正政変を契機に実施された第12回衆議院議員選挙に立候補した与謝野寛の選挙運動に協力したりするなかで、短歌に加えて多彩なジャンルへ言論活動を広げていった。『婦人公論』1918年3月号に「女性の徹底した独立」を発表し、女性の国家への依頼主義を排し、女性の経済的独立を唱えた。

この与謝野晶子の主張を批判したのが、平塚らいてうであった。平塚は、1886年、東京に生まれた。日本女子大学校卒業後、1911年に、女性の手による雑誌『イ』を発刊した。イ社員は、マスメディアで「新しい女」と呼ばれ非難・嘲笑の対象となったが、平塚は、^(c)家制度に抵抗するべく従来の結婚制度によらない男女の共同生活を実践した。『婦人公論』1918年5月号に「母性保護の主張は依頼主義か」を発表し、子どもの権利を守るためには、国家により女性の母性は保護されるべきであるという立場から、与謝野晶子の主張を批判した。この「母性保護論争」^(d)には、ウなども加わった。論争は、^(e)1918～1919年にかけて『婦人公論』『太陽』などの雑誌上で活発に展開された。ウは、後に赤瀾会を結成し、戦後には、^(f)初代労働省婦人少年局長に就任した。

〔設問1〕 空欄 **ア** に入る文芸雑誌名と、その雑誌に掲載された作品の特徴との組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **29** にマークしなさい。

- ① 『明星』 ロマン主義
- ② 『明星』 自然主義
- ③ 『白樺』 ロマン主義
- ④ 『白樺』 自然主義

〔設問2〕 下線部(a)に関連して、日露戦争前後の出来事に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **30** にマークしなさい。

- a 日本はポーツマス条約によって、旅順・大連の租借権を獲得したが、三国干渉により放棄した。
- b 韓国皇帝高宗は、オランダのハーグで開かれた第2回万国平和会議に密使を送り、韓国併合条約の無効を訴えた。
- c 日本はアメリカと非公式に桂・タフト協定を結び、日本の韓国保護国化を承認させた。
- d ポーツマス条約の結果、沿海州・カムチャツカにおける日本の漁業権が承認された。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問3〕 下線部(b)に関連して、第1次護憲運動について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **31** にマークしなさい。

- ① 第3次桂太郎内閣の成立に対して、尾崎行雄らが「閥族打破，憲政擁護」を掲げて倒閣運動を展開した。
- ② 第3次桂太郎内閣の成立に対して、加藤高明らが普通選挙実現，政党内閣の実現などを掲げて倒閣運動を展開した。
- ③ 清浦奎吾内閣の成立に対して、尾崎行雄らが「閥族打破，憲政擁護」を掲げて倒閣運動を展開した。
- ④ 清浦奎吾内閣の成立に対して、加藤高明らが普通選挙実現，政党内閣の実現などを掲げて倒閣運動を展開した。

〔設問4〕 空欄 **イ**， **ウ** に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **32** にマークしなさい。

- ① イ 青鞨 ウ 山川菊栄
- ② イ 青鞨 ウ 市川房枝
- ③ イ 主婦之友 ウ 山川菊栄
- ④ イ 主婦之友 ウ 市川房枝

〔設問5〕 下線部(c)を規定した民法について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **33** にマークしなさい。

- ① 梅謙次郎らは伝統的な家族制度が破壊されると批判した。
- ② 1947年、日本国憲法の個人尊重の理念に従い改正された。
- ③ ドイツ人のボアソナードが起草して、公布・施行された。
- ④ ドイツ人のモッセが起草して、公布・施行された。

〔設問6〕 下線部(d)に関連して、与謝野晶子が自身の主張を述べた史料として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 34 にマークしなさい。

- ① 「元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。今、女性は月である。他に依って生き、他の光によって輝く、病人のような蒼白い顔の月である。……私共は隠されて仕舞った我が太陽を今や取り戻さねばならぬ」
- ② 「婦人は如何なる場合にも依頼主義を採ってはならない……たとひ男子にその経済上の保障があっても女子にまだその保障が無い間は結婚及び分娩を避くべきものだと思います」
- ③ 「子供の完全な保護はその母を保護することです。すなわち母体に妊娠、分娩、育児期に於ける生活の安定を与えるよう国庫によって補助することです」
- ④ 「日本国憲法の理念にのつとり雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇が確保されることを促進するとともに、女子労働者について、職業能力の開発及び向上、再就職の援助並びに職業生活と家庭生活との調和を図る」

〔設問7〕 下線部(e)に関連して、1910～1920年代の生活文化について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **35** にマークしなさい。

- ① 1920年代になると新聞の発行部数は停滞し、かわりに大衆娯楽雑誌の発行部数が飛躍的にのびた。
- ② テレビ放送が開始され、スポーツの実況中継などが人気を呼び、放送網が全国に拡大した。
- ③ 小山内薫・土方与志らが築地小劇場を創設した。
- ④ 第2次大隈重信内閣によって制定された大学令によって、大学・高等学校・専門学校の増設がすすみ、高等教育を受ける者の数が増えた。

〔設問8〕 下線部(f)に関連して、日本の労働政策に関して述べた次の文 i～iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **36** にマークしなさい。

- i 労働者の団結権・団体交渉権・争議権を保障する労働組合法が制定された。
- ii 少年・女性の就業時間の限度を12時間とし、その深夜業を禁止する工場法が制定された。
- iii 男女雇用機会均等法が制定され、雇用や昇進などにおける性差別的な待遇が禁止された。

- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
- ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

B 「母性保護論争」後、与謝野晶子は、文化学院を創設して、女子教育の充実をはかった。さらに女性の選挙権獲得のための運動に関わり、1930年の第1回日本婦選大会では、山田耕柞が作曲した「婦選の歌」の作詞を担当した。1928年^(g)には満鉄の招待で満洲を見学し、この経験から「満洲国」^(h)建国を容認し、日中戦争勃発後、戦争を賛美する短歌も詠むようになった。1940年、夫であった寛の法要に出席後、脳出血で右半身不随となり1942年に死去した。

一方、平塚らいてうは、新婦人協会を結成して、婦人参政権運動に積極的に取り組んだ。1930年頃になると、⁽ⁱ⁾無政府主義運動にかかわり、居住地であった東京の成城に消費組合「我等の家」を設立して、戦時下の^(j)統制経済により運営困難となる1938年まで活動を継続した。敗戦後、再び女性運動、平和運動に力を注いだ。1950年には来日したアメリカ国務省顧問ダレスに連名で平和と全面講和を要請し、翌年、^(k)講和条約および日米安全保障条約に反対して「再軍備反対婦人委員会」を組織した。晩年は、^(l)ベトナム反戦運動の先頭にたち、1971年に死去した。

〔設問9〕 下線部(g)に関連して、近代日本の音楽に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 37 にマークしなさい。

- ① 東京音楽学校は山田耕柞によって創立された。
- ② 唱歌とは、伝統的な能楽に基礎をおきながら児童が歌いやすいようにした音楽のことである。
- ③ 並木路子による哀愁を帯びた「リンゴの唄」は、戦時下の不安な時代を反映して流行歌となった。
- ④ 伊沢修二らの努力により、小学校教育に唱歌が採用された。

〔設問10〕 下線部(h)に関連して、「満洲国」建国前後の出来事に関して述べた次の文 i ～ iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **38** にマークしなさい。

- i 日本政府は正式に国際連盟からの脱退を通告した。
- ii 関東軍は奉天郊外の柳条湖で南満洲鉄道の線路を爆破し、これを中国軍の行為であると偽って軍事行動を開始した。
- iii 血盟団員が、前大蔵大臣井上準之助、三井合名会社理事長団琢磨を暗殺した。

- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
- ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

〔設問11〕 下線部(i)に関連して、無政府主義者に関する事件について述べた次の文 X・Y と、それに関連する人物名 a ～ d との組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **39** にマークしなさい。

X 天皇暗殺を企てたという理由で26名の無政府主義者・社会主義者が起訴され、うち12名が死刑となった。

Y 『経済学研究』に掲載した無政府主義者のクロボトキンに関する研究論文が危険思想であるとして休職処分となった。

a 幸徳秋水 b 堺利彦 c 南原繁 d 森戸辰男

- ① X - a Y - c ② X - a Y - d
- ③ X - b Y - c ④ X - b Y - d

〔設問12〕 下線部(j)に関連して、1930～1940年代前半の統制経済に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄

40

 にマークしなさい。

- a 政府は、金融緊急措置令を成立させるため、新体制運動を展開した。
- b 政府は国家総動員法に基づき、価格等統制令を出して公定価格制を導入した。
- c 戦争遂行のための物資動員・立案・調整を任務とする制度取調局が設置された。
- d 総力戦遂行にむけて労働者を全面的に動員するために、労資一体で国策に協力する産業報国会が結成された。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問13〕 下線部(k)に関連して、講和をめぐる出来事に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄

41

 にマークしなさい。

- ① ソ連や中華人民共和国は、サンフランシスコ講和会議に出席したが、条約案に不満があり調印しなかった。
- ② 日本社会党は、講和をめぐる路線対立により分裂し、芦田均を委員長とする民主社会党が結成された。
- ③ サンフランシスコ平和条約が調印され、日本は主権を回復したが、沖縄・小笠原諸島は、アメリカの施政権下におかれた。
- ④ サンフランシスコ平和条約とともに日米安全保障条約が締結され、アメリカの日本防衛義務が明示された。

〔設問14〕 下線部(1)に関連して、ベトナム戦争期に起きた出来事に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 42 にマークしなさい。

- a ベトナム戦争における日本の戦費負担は、日本の高度経済成長に終焉をもたらした。
- b 佐藤栄作内閣は、日韓基本条約を結び韓国との国交を樹立した。
- c ベトナム戦争により沖縄の米軍基地利用が活発になると、沖縄の祖国復帰運動は基地への批判を強めた。
- d アメリカが南ベトナムへの爆撃をはじめ全面的に軍事介入をおこなうと、南ベトナム側は中国・ソ連の支持をうけて抗戦した。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d